



揮毫、ま松カ社負集

家ヲ訪ヒ話セシ所

左ノ通クニヤシ

西ノ始メ現由あり

頁ニ經中聯合お整

ヒタリ、先ニ此儀

押通セントノ宛込

答、多ク皆一玉ニ附

シ答ハ由、同人ノ旅中より

昔ノ仙居ニ踏リ胸ウ

ハ入シ、亦々中宛セヨ早リ

作リ、呉レシトカ越セシ

故ニ改訂ハ向大石ノ旨

定メテ大なるニ極ニ入

タリ、然ルニ此等、建









後、森田を以て「連合

」の「シヤト」なる

ヲ以て「キ」の由、社員

ハ「子」の由、田名毛改訂

ノ「飛」の由、一「積」の由、

「シ」の由、「シ」「向」

ノ「約」の由、「シ」「カス

又「シ」の由、「シ」「ト

「シ」の由、

「シ」の由、「シ」「向

「シ」の由、「シ」「向

「シ」の由、「シ」「向

山、山田、大山、「シ」「向

「シ」の由、「シ」「向

ト「シ」の由、「シ」「向

先「シ」の由、「シ」「向



ト申見ハヤハ、西門ハ  
先ツモ方、相ニ未松ハ  
中子ハ、由

右ニ稻ヤ、実ヲトシ、  
ケ、茶ト少、ホ、下、  
ケ、石

此、毎又、入、西、  
也

禪

七月  
十七日

早稲田

大隈重信様

侍親展

明治三十四年  
赤坂表三丁目

矢野文雄